

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10021

キャリアプログラムⅠ

Career program I

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

前

2

1

講義

林 正樹・東郷 睦・花澤 徹

授業の概要

今までの自分自身のキャリアを振り返り、これからの専門学校生活（あるいは学生社員生活）における目標の設定や、具体的な計画の作成をします。「社会を知る」、「自己理解」、「就職試験への準備」などをトピックとして取り上げながら授業を進めてゆきます。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	○	○				
目標2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	○	○			○	
目標3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	○	○	○			
目標4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	○	○			○	
目標5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				○		○
目標6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			○	○	○	○
目標7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		○			○	○
目標8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					○	○
目標9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○			○
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	ガイダンス〔2年間のキャリア教育の内容、理事長・学校長講話〕	西原・八木・林・東郷
2	社会を知る① 人生100年時代の働き方〔ライフワークバランス、働く・学ぶの繰り返し〕	林
3	A 就職を通して自分の将来についてのフリートーク〔自身の考え方を話し、他の学生の考え方を聞く〕	林
	B 公務員ガイダンス〔公務員の仕事、試験の概要、試験対策のための授業等〕	安藤
4	社会を知る②〔会社組織と雇用環境の変化、新型コロナによる影響〕 社会を知る②〔会社組織と雇用環境の変化、新型コロナによる影響〕	林
5	社会を知る③〔ライフプランに合わせた多様な働き方・雇用形態〕	林
6	社会を知る④〔働く上での基本的なルール・労働基準法の概要〕	林
7	就職活動の概要と向き合い方〔高卒就職との相違点、活動時期・選考・考え方〕	林
8	自己理解①〔過去の振り返り・人生すごろくゲーム活用〕	林
9	自己理解②〔自身の強み・弱み・就職に対する考えをまとめ〕	林
10	自己理解③〔自己PRの考え方〕〔他人と違う自分価値の理解・ポイント・例文比較検討〕	花澤
11	キャリアカルテ〔オリジナル〕の作成〔今までの内容をシートAへ記入〕	花澤
12	コミュニケーション能力の育成〔聞く力・話す力の重要性を喚起〕	花澤
13	文章能力の育成〔読む力・書く力の重要性を喚起〕	花澤
14	志望動機の考え方〔志望動機の記事構成・ポイント・例文比較検討〕	林
15	給与に関する税金の概要〔給与明細のしくみ、所得税・住民税の理解〕	林
16	社会保険の概要①〔健康保険・雇用保険〕〔制度しくみ、非正規社員との比較〕	林
17	社会保険の概要②〔労災保険・年金保険〕〔制度しくみ、非正規社員との比較〕	林
18	筆記試験対策①〔筆記試験の種類の説明・筆記試験の実習体験〕	花澤
19	筆記試験対策②〔自己学習への意識・動議付け、筆記試験の実習体験〕	花澤
20	前期試験・前期総括〔1年後期に向けて〕	林・東郷

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分程度
事後学習	学習した内容について、指示された課題があれば行う（宿題）。
充当時間	約30分～1時間程度
使用テキスト	必要に応じて、その都度指示を行う。
参考資料	必要に応じて、その都度指示を行う。
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	20						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10022

キャリアプログラムⅡ

Career program II

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

後

2

1

講義

林 正樹・東郷 睦・花澤 徹

授業の概要

就職活動の準備として、「自己PR」と「志望動機」を作成して、履歴書の完成を目指します。また、「業界研究」と「企業研究」を進めて、自分の志望する業界、業種、職種を幅広く検討します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	○	○				
目標2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	○	○			○	
目標3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	○	○	○			
目標4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	○	○			○	
目標5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				○		○
目標6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			○	○	○	○
目標7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		○			○	○
目標8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					○	○
目標9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○			○
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					○	○

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）	
1	筆記試験対策③〔一般常識問題Ⅰ、ポイント・傾向〕	花澤
2	筆記試験対策④〔一般常識問題Ⅱ、実践問題の解答解説〕	花澤
3	筆記試験対策⑤〔時事教養問題、ポイント・傾向、実践問題の解答解説〕	花澤
4	就職用語の理解〔就職用語の説明、求人票の見方、先輩の就職活動〕	林
5	仕事を知る①〔販売職・営業職の仕事内容、やりがい、タイプ〕	林
6	仕事を知る②〔事務職・経理職の仕事内容、やりがい、タイプ〕	林
7	仕事を知る③〔サービス職・その他職種の仕事内容、やりがい、タイプ〕	林
8	応募書類の作成①〔履歴書・ESの書き方・実践〕	花澤
9	応募書類の作成②〔志望理由・自己PRの書き方・実践〕	花澤
10	就職サイトについて〔概要の説明、登録・活用方法〕	花澤
11	筆記試験対策⑥〔SPI3・言語系のポイント、傾向、自己学習への動機づけ〕	花澤
12	筆記試験対策⑦〔SPI3・非言語系の実践問題の解答解説〕	花澤
13	筆記試験対策⑧〔SPI3・非言語系の実践問題の解答解説〕	花澤
14	業界・企業研究①〔企業のHPを見る視点、関心ある企業の調べ学習〕	林
15	業界・企業研究②〔関心ある企業の調べ学習〕	林
16	業界・企業研究③〔関心ある企業の調べ学習〕	林
17	個人面接〔1回目〕シートAを参照しシートBへ記入〔希望職種・業界の方向性・学生の重視ポイント〕	林・東郷・花澤
18	個人面接〔1回目〕シートAを参照しシートBへ記入〔希望職種・業界の方向性・学生の重視ポイント〕	林・東郷・花澤
19	個人面接〔1回目〕シートAを参照しシートBへ記入〔希望職種・業界の方向性・学生の重視ポイント〕	林・東郷・花澤
20	後期試験・後期総括〔2年前期に向けて〕	林・東郷

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分程度
事後学習	学習した内容について、指示された課題があれば行う（宿題）。
充当時間	約30分～1時間程度
使用テキスト	必要に応じて、その都度指示を行う。
参考資料	必要に応じて、その都度指示を行う。
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	20						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10023

キャリアプログラムⅢ

Career programⅢ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

前

2

1

講義

林 正樹・東郷 睦・花澤 徹

授
業
の
概
要

就職活動の対策として、企業へのエントリー（資料請求）を実施して、エントリーシートの作成を行います。また面接試験の対策を実施して企業からの内定獲得を目指します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	○	○				
目標 2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	○	○			○	
目標 3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	○	○	○			
目標 4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	○	○			○	
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				○		○
目標 6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			○	○	○	○
目標 7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		○			○	○
目標 8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					○	○
目標 9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○			○
目標 1 0	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					○	○

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）	
1	就職活動への準備①〔身だしなみ・準備物、理事長・学校長講話〕	西原・八木・林・東郷
2	就職活動への準備②〔企業への電話・メール・郵送等の対応〕	林
3	面接試験対策①〔面接の概要・就職試験の中での位置付けを理解〕	林
4	面接試験対策②〔オンライン型の注意点、デモ〕	花澤
5	面接試験対策③〔対面型の注意点、デモ〕	花澤
6	面接試験対策④〔Gワーク・Gディスカッションの注意点、実践〕	花澤
7	面接試験対策⑤〔Gワーク・Gディスカッションの実践〕	花澤
8	面接試験対策⑥〔個人面接実習〕	林・東郷・花澤
9	面接試験対策⑦〔個人面接実習・G面接実習〕	林・東郷・花澤
10	個人面接〔2回目〕シートCへ記入〔志望分野・企業候補の確定〕	林・東郷・花澤
11	個人面接〔2回目〕シートCへ記入〔志望分野・企業候補の確定〕	林・東郷・花澤
12	個人面接〔2回目〕シートCへ記入〔志望分野・企業候補の確定〕	林・東郷・花澤
13	個人面接〔3回目〕〔就活支援の方向性〕シートA・B・C参照	林・東郷・花澤
14	個人面接〔3回目〕〔就活支援の方向性〕シートA・B・C参照	林・東郷・花澤
15	就職活動実践〔サポート〕①〔応募書類の確認・面接練習〕	林・東郷・花澤
16	就職活動実践〔サポート〕②〔応募書類の確認・面接練習〕	林・東郷・花澤
17	就職活動実践〔サポート〕③〔応募書類の確認・面接練習〕	林・東郷・花澤
18	就職活動実践〔サポート〕④〔応募書類の確認・面接練習〕	林・東郷・花澤
19	就職活動実践〔サポート〕⑤〔応募書類の確認・面接練習〕	林・東郷・花澤
20	前期試験・前期総括〔2年後期へ向けて〕	林・東郷

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分程度
事後学習	学習した内容について、指示された課題があれば行う（宿題）。
充当時間	約30分～1時間程度
使用テキスト	必要に応じて、その都度指示を行う。
参考資料	必要に応じて、その都度指示を行う。
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	20						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分程度
事後学習	学習した内容について、指示された課題があれば行う（宿題）。
充当時間	約30分～1時間程度
使用テキスト	必要に応じて、その都度指示を行う。
参考資料	必要に応じて、その都度指示を行う。
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	20						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10011

コンピュータ実習Ⅰ

Computer training I

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

前

2

1

実習

岩野 桂子

授
業
の
概
要

Microsoft Office Specialist(MOS)Wordに必要なアプリケーションの機能と操作方法を学習します。MOS (Word) エキ
スパートの検定試験合格を目標とした学習内容です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標 3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
目標 6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
目標 10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	第1章 文書の作成と管理
2	第1章 文書の作成と管理
3	第2章 文字、段落、セクションの書式設定
4	第2章 文字、段落、セクションの書式設定
5	第2章 文字、段落、セクションの書式設定
6	第2章 文字、段落、セクションの書式設定
7	第3章 表やリストの作成
8	第3章 表やリストの作成
9	第3章 表やリストの作成
10	第3章 表やリストの作成
11	第4章 参考資料の作成と管理
12	第4章 参考資料の作成と管理
13	模擬試験 第1回
14	模擬試験 第2回
15	模擬試験 第3回
16	模擬試験 第4回
17	模擬試験 第5回
18	総まとめ
19	単位認定試験 総まとめ
20	単位認定試験のフィードバック
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	「MOS攻略問題集Word 365&2019エキスパート」日経BP社、ISBN9784296050055
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	0						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	<u>大手電機機器メーカーでコンピュータ開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い知識を併せ持つ。</u>
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10012

コンピュータ実習Ⅱ

Computer training II

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

後

2

1

実習

岩野 桂子

授
業
の
概
要

Microsoft Office Specialist(MOS)Excelに必要なアプリケーションの機能と操作方法を学習します。MOS (Excel) エキスパートの検定試験合格を目標とした学習内容です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標 3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
目標 6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
目標 1 0	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	第1章 ワークシートやブックの作成と管理
2	第1章 ワークシートやブックの作成と管理
3	第2章 セルやセル範囲のデータの管理
4	第2章 セルやセル範囲のデータの管理
5	第2章 セルやセル範囲のデータの管理
6	第3章 テーブルの作成
7	第3章 テーブルの作成
8	第4章 数式や関数を使用した演算の実行
9	第4章 数式や関数を使用した演算の実行
10	第4章 数式や関数を使用した演算の実行
11	第5章 グラフやオブジェクトの作成
12	第5章 グラフやオブジェクトの作成
13	模擬試験 第1回
14	模擬試験 第2回
15	模擬試験 第3回
16	模擬試験 第4回
17	模擬試験 第5回
18	総まとめ
19	単位認定試験 総まとめ
20	単位認定試験のフィードバック
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	「MOS攻略問題集Excel 365&2019エキスパート」日経BP社、ISBN9784296050062
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	0						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	大手電機機器メーカーでコンピュータ開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い知識を併せ持つ。
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10014

情報処理Ⅰ

Information processingⅠ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

前

2

1

実習

岩野 桂子

授
業
の
概
要

小学校・中学校を通じて学習してきた情報系の学習内容（プログラミング学習など）の集大成として、主に実務上必要不可欠なプログラミング学習を行います。苦手な学生に対しては今までの総復習として対応します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
目標6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	授業の進め方、課題などの説明、プログラミングについて
2	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
3	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
4	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
5	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
6	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
7	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
8	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
9	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
10	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
11	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
12	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
13	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
14	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
15	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
16	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
17	発表会
18	発表会
19	単位認定試験 総まとめ
20	単位認定試験のフィードバック
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	特に指定なし。
参考資料	「MOS攻略問題集Excel 365&2019エキスパート」日経BP社、ISBN9784296050062
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	10						○				
6	課題の提出状況	10						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	大手電機機器メーカーでコンピュータ開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い知識を併せ持つ。
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10015

情報処理Ⅱ

Information processing Ⅱ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

後

1

1

実習

岩野 桂子

授
業
の
概
要

小学校・中学校を通じて学習してきた情報系の学習内容（プログラミング学習など）の集大成として、主に実務上必要不可欠なプログラミング学習を行います。苦手な学生に対しては今までの総復習として対応します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	○	○				
目標 2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	○	○			○	
目標 3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	○	○	○			
目標 4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	○	○			○	
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				○		○
目標 6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			○	○	○	○
目標 7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		○			○	○
目標 8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					○	○
目標 9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○			○
目標 1 0	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					○	○

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	授業の進め方、課題などの説明、プログラミングについて
2	プログラミング実習Ⅱ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
3	プログラミング実習Ⅱ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
4	プログラミング実習Ⅱ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
5	プログラミング実習Ⅱ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
6	プログラミング実習Ⅱ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
7	プログラミング実習Ⅱ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
8	プログラミング実習Ⅱ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
9	発表会
10	単位認定試験 総まとめ
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	特に指定なし。
参考資料	「MOS攻略問題集Excel 365&2019エキスパート」日経BP社、ISBN9784296050062
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	10						○				
6	課題の提出状況	10						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	<u>大手電機機器メーカーでコンピュータ開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い知識を併せ持つ。</u>
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20001

校外研修Ⅰ

Off-campus trainingⅠ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

通

1

実習

東郷 睦

授
業
の
概
要

校外での学習機会を用意し、設定された授業科目に関連する知識を修得する。社会状況を勘案しながら、公共機関や民間施設などを利用し、各種セミナー、講演会、イベント、見学会、研修などを参加・受講する。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	事前学習（見学先、研修目的、レポートの作成方法等の説明）
2	研修（各研修先へ直行）
3	事後学習（レポート作成、提出）
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	見学先、研修目的、レポートの作成方法等の説明
充当時間	1時間程度
事後学習	レポート作成、提出
充当時間	1時間程度
使用テキスト	なし
参考資料	研修先によって資料を事前準備
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20002

校外研修Ⅱ

Off-campus trainingⅡ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

通

1

実習

東郷 睦

授
業
の
概
要

校外での学習機会を用意し、設定された授業科目に関連する知識を修得する。社会状況を勘案しながら、公共機関や民間施設などを利用し、各種セミナー、講演会、イベント、見学会、研修などを参加・受講する。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	事前学習（見学先、研修目的、レポートの作成方法等の説明）
2	研修（各研修先へ直行）
3	事後学習（レポート作成、提出）
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	見学先、研修目的、レポートの作成方法等の説明
充当時間	1時間程度
事後学習	レポート作成、提出
充当時間	1時間程度
使用テキスト	なし
参考資料	研修先によって資料を事前準備
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○						○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○			○		○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○			○		○		
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○			○		○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○			○		○
6	課題の提出状況	10					○	○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○						○			
8	他の学生への教育的支援	10							○			
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20011

インターンシップⅠ

Internship I

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

前

2

実習

東郷 睦

授
業
の
概
要

提携先企業において、入社前研修から基礎研修（OFF-JTなど）、配属先決定、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学びます。学生社員として働くうえで必要な職場のマナーや基本ルールを身に付けます。また、職場の上司や先輩から指導を受けて、自分が担当する業務をマスターできるように学習します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	4月～5月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10					○	○							
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ^o（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20012

インターンシップⅡ

Internship II

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

前

2

実習

東郷 睦

授
業
の
概
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学びます。基本的な実務知識（業務内容の理解、担当業務の運営など）の修得を行うことが出来るように取り組みます。職場の上司や先輩から指導を受けた種々の業務を、トレーニングを積み重ねて自分の力で立ち回れるように学習します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	6月～7月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ^o（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20013

インターンシップⅢ

InternshipⅢ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

前

2

実習

東郷 睦

授
業
の
概
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学びます。実践的な実務知識（業務内容の理解、担当業務の運営など）の修得を行うことが出来るように取り組みます。次年度に後輩社員が入社した場合、適切に指導できるよう、職場における種々の業務を体系的に理解し、把握できるように学習します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	8月～9月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10					○	○							
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20014

インターンシップⅣ

InternshipⅣ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

後

2

実習

東郷 睦

授
業
の
概
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学ぶ。実践的な実務知識（業務内容の理解、担当業務の運営など）の修得により、新入社員（在籍校の下級生を含む）に対し指導できるように取り組む。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	10月～11月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ^o（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20015

インターンシップV

Internship V

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

後

2

実習

東郷 睦

授
業
の
概
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学ぶ。発展的な実務知識（業務内容の改善、担当業務外への視野拡大など）の修得により、新入社員（在籍校の下級生を含む）に対し模範となるように取り組む。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	12月～1月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ^o（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20016

インターンシップⅥ

InternshipⅥ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

後

2

実習

東郷 睦

授
業
の
概
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学ぶ。発展的な実務知識（業務内容の改善、担当業務外への視野拡大など）の修得により、提携先企業の中核社員となるように取り組む。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	2月～3月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ^o（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20021

インターンシップⅦ

InternshipⅦ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

前

2

実習

東郷 睦

授
業
の
概
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学ぶ。発展的な実務知識（業務内容の改善、担当業務外への視野拡大など）の修得により、提携先企業の中核社員となるように取り組む。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	(2年)4月～5月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10					○	○							
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ^o（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20022

インターンシップⅩ

InternshipⅧⅢ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

前

2

実習

東郷 睦

授
業
の
概
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学ぶ。発展的な実務知識（業務内容の改善、担当業務外への視野拡大など）の修得により、提携先企業の中核社員となるように取り組む。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	(2年)6月～7月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○						○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○			○		○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○			○		○		
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○			○		○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○			○		○
6	課題の提出状況	10					○	○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○						○			
8	他の学生への教育的支援	10							○			
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ^o（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20023

インターンシップⅩ

InternshipⅩ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

前

2

実習

東郷 睦

授
業
の
概
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学ぶ。発展的な実務知識（業務内容の改善、担当業務外への視野拡大など）の修得により、提携先企業の中核社員となるように取り組む。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	(2年)8月～9月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ^o（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20024

インターンシップX

Internship X

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

後

2

実習

東郷 睦

授
業
の
概
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学ぶ。発展的な実務知識（業務内容の改善、担当業務外への視野拡大など）の修得により、提携先企業の中核社員となるように取り組む。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	(2年)10月～11月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10					○	○							
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ^o（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20025

インターンシップXI

InternshipXI

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

後

2

実習

東郷 睦

授
業
の
概
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学ぶ。発展的な実務知識（業務内容の改善、担当業務外への視野拡大など）の修得により、提携先企業の中核社員となるように取り組む。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	(2年)12月～1月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ^o（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20026

インターンシップⅡ

InternshipⅡ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

後

1

実習

東郷 睦

授
業
の
概
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学ぶ。発展的な実務知識（業務内容の改善、担当業務外への視野拡大など）の修得により、提携先企業の中核社員となるように取り組む。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	(2年)2月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ^o（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20031

資格検定試験対策ⅠA

Qualification exam preparation learningⅠA

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

通

1

1

演習

各科目担当者

授
業
の
概
要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20032

資格検定試験対策ⅠB

Qualification exam preparation learningⅠB

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

通

1

1

演習

各科目担当者

授
業
の
概
要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20033

資格検定試験対策Ⅱ

Qualification exam preparation learning Ⅱ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

通

2

1

演習

各科目担当者

授
業
の
概
要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20034

資格検定試験対策Ⅲ

Qualification exam preparation learningⅢ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

通

2

1

演習

各科目担当者

授業の概要	課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。
-------	---

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10					○	○							
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20035

資格検定試験対策Ⅳ

Qualification exam preparation learningⅣ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

通

2

1

演習

各科目担当者

授
業
の
概
要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20036

資格検定試験対策V

Qualification exam preparation learning V

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

通

2

1

演習

各科目担当者

授業の概要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						<input type="radio"/>
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						<input type="radio"/>
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						<input type="radio"/>
目標 10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10					○	○							
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20037

資格検定試験対策VI

Qualification exam preparation learningVI

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

通

2

1

演習

各科目担当者

授業の概要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20041

資格検定試験対策VIIA

Qualification exam preparation learningVIIA

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科II部、事務・
情報ビジネス学科II部、観光・ホテルビジ
ネス学科II部、公務員学科II部

なし

2

通

1

1

演習

各科目担当者

授
業
の
概
要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップI」から「インターンシップXII」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20042

資格検定試験対策VIIIB

Qualification exam preparation learningVIIIB

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科II部、事務・
情報ビジネス学科II部、観光・ホテルビジ
ネス学科II部、公務員学科II部

なし

2

通

1

1

演習

各科目担当者

授
業
の
概
要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップI」から「インターンシップXII」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20043

資格検定試験対策VIII

Qualification exam preparation learningVIII

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科II部、事務・
情報ビジネス学科II部、観光・ホテルビジ
ネス学科II部、公務員学科II部

なし

2

通

2

1

演習

各科目担当者

授
業
の
概
要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップI」から「インターンシップXII」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20044

資格検定試験対策IX

Qualification exam preparation learningIX

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

通

2

1

演習

各科目担当者

授業の概要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						<input type="radio"/>
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						<input type="radio"/>
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						<input type="radio"/>
目標 10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10					○	○							
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20045

資格検定試験対策X

Qualification exam preparation learning X

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

通

2

1

演習

各科目担当者

授
業
の
概
要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20046

資格検定試験対策XI

Qualification exam preparation learningXI

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

通

2

1

演習

各科目担当者

授業の概要	課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。
-------	---

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						<input type="radio"/>
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						<input type="radio"/>
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						<input type="radio"/>
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20047

資格検定試験対策XII

Qualification exam preparation learningXII

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

通

1

1

演習

各科目担当者

授
業
の
概
要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップXII」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10051

業界研究（公務員）

Industry research

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

1

後

1

1

講義

安藤 隆

授業の概要

主に公務員試験の概要説明と、具体的な職種の研究を行います。また、並行して民間就職に向けての就職活動として、希望の業界の特色や将来性、成長性を調べたり、会社の仕事の内容や企業理念などの特色を研究します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標 3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
目標 6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
目標 10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	「就職活動における企業研究のポイント説明」、就職活動上の注意点、企業研究の方法、日本の企業の特徴など
2	公務員試験、公務員の職種及び業務内容の説明
3	公務員試験、公務員の職種及び業務内容の説明
4	公務員試験、公務員の職種及び業務内容の説明
5	公務員試験、公務員の職種及び業務内容の説明
6	業界・業種・職種の違い、業界について（マイナビなどのデータを活用して調べる）マイナビ2023登録など
7	各種データに基づく業界研究・企業研究（福利厚生面、セルフキャリアドッグ）
8	各種データに基づく業界研究・企業研究（売上高、市場占有率、新規産業、異業種参入例など）
9	各種データに基づく業界研究・企業研究、後期 単位認定試験（筆記試験）
10	各種データに基づく業界研究・企業研究、単位認定試験のフィードバック
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分程度
事後学習	学習した内容について、指示された課題があれば行う（宿題）。
充当時間	各授業毎に約30分程度
使用テキスト	特になし
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30021

政治

Politics

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

1

前

2

2

講義

安藤 隆

授業の概要

憲法、人権、国会・内閣・裁判所、地方自治などを中心に、講義と問題演習を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	政治：近代国家、社会契約論
2	政治：議院内閣制と大統領制
3	政治：日本国憲法、基本的人権
4	政治：自由権、社会権、受益権
5	政治：国会の権能、議院の権能
6	政治：国会の権能、議院の権能
7	政治：内閣と内閣総理大臣の権能
8	政治：裁判所の権能と違憲立法審査権
9	政治：地方自治
10	単位認定試験、総まとめ
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	基礎編テキスト&ドリル『政治』『経済』『社会』（大原オリジナルテキスト）
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○				○					
3	ミニテストの得点	20		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況								○	○					○
5	課題の達成状況								○						
6	課題の提出状況								○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	5										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30022

経済・社会

Economy and society

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科II部

なし

1

前

2

2

講義

安藤 隆

授業の概要

経済は市場メカニズム、景気循環、日銀・金融政策、財政制度、外国為替などを中心に、社会は現代社会の特質や労働問題、社会保障制度、地球環境問題、国際関係などを中心に講義と問題演習を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	経済：経済体制と経済理論
2	経済：現代の企業と現代の市場
3	経済：国民所得と国民経済計算
4	経済：経済成長と景気循環
5	経済：通貨制度と金融政策
6	経済：財政制度と財政政策
7	経済：日本経済の動向
8	経済：貿易と外国為替、国際経済の動向
9	労働問題、労働組合と労働争議、現代日本の労働状況
10	単位認定試験、総まとめ
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	基礎編テキスト&ドリル『政治』『経済』『社会』（大原オリジナルテキスト）
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30023

地理

Geography

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科II部

なし

1

前

2

2

講義

安藤 隆

授業の概要

地理は世界の気候、農牧業、日本地理、世界地誌について、重点を置き学習します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	地理：世界の大地形、山地地形、平野地形、気候要素と気候因子、世界の風系、ケッペンの気候区分
2	地理：世界の土壌と植生、世界の農牧業、世界の主要漁場、世界のエネルギー資源と鉱産資源、電力資源
3	地理：世界の土壌と植生、世界の農牧業、世界の主要漁場、世界のエネルギー資源と鉱産資源、電力資源
4	地理：世界の主要工業地域、都市の発達と人口、日本の自然環境と産業
5	地理：世界の大地形、山地地形、平野地形、気候要素と気候因子、世界の風系、ケッペンの気候区分
6	地理：世界の土壌と植生、世界の農牧業、世界の主要漁場、世界のエネルギー資源と鉱産資源、電力資源
7	地理：世界の主要工業地域、都市の発達と人口、日本の自然環境と産業
8	地理：世界の大地形、山地地形、平野地形、気候要素と気候因子、世界の風系、ケッペンの気候区分
9	地理：世界の主要工業地域、都市の発達と人口、日本の自然環境と産業
10	単位認定試験、総まとめ
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	基礎編テキスト&ドリル『政治』『経済』『社会』（大原オリジナルテキスト）
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30024

日本史

Japanese history

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

1

前

2

2

講義

安藤 隆

授業の概要

日本史は出題の多い近世、近代を中心に、重点を置き学習します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	地理：世界の大地形、山地地形、平野地形、気候要素と気候因子、世界の風系、ケッペンの気候区分
2	地理：世界の土壌と植生、世界の農牧業、世界の主要漁場、世界のエネルギー資源と鉱産資源、電力資源
3	地理：世界の主要工業地域、都市の発達と人口、日本の自然環境と産業
4	地理：世界の大地形、山地地形、平野地形、気候要素と気候因子、世界の風系、ケッペンの気候区分
5	地理：世界の土壌と植生、世界の農牧業、世界の主要漁場、世界のエネルギー資源と鉱産資源、電力資源
6	地理：世界の主要工業地域、都市の発達と人口、日本の自然環境と産業
7	地理：世界の大地形、山地地形、平野地形、気候要素と気候因子、世界の風系、ケッペンの気候区分
8	地理：世界の土壌と植生、世界の農牧業、世界の主要漁場、世界のエネルギー資源と鉱産資源、電力資源
9	地理：世界の主要工業地域、都市の発達と人口、日本の自然環境と産業
10	単位認定試験、総まとめ
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	基礎編テキスト&ドリル『政治』『経済』『社会』（大原オリジナルテキスト）
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○				○					
3	ミニテストの得点	20		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況								○	○					○
5	課題の達成状況								○						
6	課題の提出状況								○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	5										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30025

世界史

World history

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

1

前

1

2

講義

安藤 隆

授業の概要

世界史では、中国史、ルネサンス、宗教改革、絶対主義、市民革命、アジアの民族運動に重点を置き学習します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	世界史1 古代文明、中国王朝史①世界史2 古代文明、中国王朝史②、古代地中海世界、中世ヨーロッパ
2	世界史3 古代文明、中世ヨーロッパ、世界史4 16～18世紀のヨーロッパ、市民社会の成長、
3	世界史5 16～18世紀のヨーロッパ、市民社会の成長、19世紀の欧米社会 世界史6 第一次世界大戦とヴェルサイユ体
4	世界史7 第二次世界大戦と戦後の状況 世界史8 第二次世界大戦と戦後の状況
5	単位認定試験、総まとめ
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	基礎編テキスト&ドリル『政治』『経済』『社会』（大原オリジナルテキスト）
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30071	生物	biology
-------------	----	---------

学科名	コース名	学年	学期	単位数	週コマ	方法	科目担当教員
公務員学科Ⅱ部	なし	1	前	1	2	講義	原島 恒雄

授業の概要	生物の講義を行います。生物は生体の構造、代謝、遺伝、刺激の受容と反応、内部環境の恒常性と調節、生物の集団・進化と系統などについて扱います。
-------	---

具体的な到達目標とDP等への対応		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				<input type="radio"/>		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						<input type="radio"/>

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	生物 第1章 生体の構造 ～ 第2章 生体内の代謝
2	生物 第3章 生殖と発生 ～ 第4章 遺伝と変異
3	生物 第5章 刺激の受容と反応 第1節 興奮の伝わり方 ～ 第4節 動物の行動
4	生物 第6章 内部環境の恒常性、第7章、第8章
5	単位認定試験、総まとめ
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	基礎編テキスト&ドリル『政治』『経済』『社会』（大原オリジナルテキスト）
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30072

地学

Earth science

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

1

前

1

2

講義

原島 恒雄

授業の概要

地学の講義を行います。地球の内部構造と地震、岩石、大気と海洋、太陽系と宇宙の構造、地層と地質年代などについて扱います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	地学 第1章 第1節 地球の形と内部構造 第2節 動く大地 第3節 地震 第4節 プレートと日本列島
2	地学 第2章 第1節 火成岩とマグマ 第2節 堆積岩と風化作用 第3節 変成岩と造山運動
3	地学 第3章 第1節 大気と地球の熱収支 第2節 雲と降雨 第3節 地球をめぐる大気
4	地学 第4章 第1節 地球の運動 第2節 恒星の世界 3節 銀河と宇宙
5	単位認定試験 総まとめ
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	基礎編テキスト&ドリル『政治』『経済』『社会』（大原オリジナルテキスト）
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○				○					
3	ミニテストの得点	20		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況								○	○					○
5	課題の達成状況								○						
6	課題の提出状況								○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	5										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30001

文章理解Ⅰ

Reading comprehensionⅠ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

1

前

2

1

講義

安藤 隆

授業の概要

公務員試験の文章理解の科目において多く出題される、日本語現代文の問題を解くためのポイントを解説し、問題演習を行います。具体的には、内容把握、要旨把握、文章整序、空欄補充の各分野を扱い、基礎的レベルの問題を確実に解けることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	第1編 基礎国語編（第1章 文と文章、第2章 指示語、第3章 接続語）
2	第1編 基礎国語編（第1章 文と文章、第2章 指示語、第3章 接続語）
3	第2編 基礎編（第1章 内容把握問題の解法（第1節 接続語、第2節 具体例））
4	第2編 基礎編（第1章 内容把握問題の解法（第2節 具体例、第3節 キーワード））
5	第2編 基礎編（第1章 内容把握問題の解法（第3節 キーワード、第4節 文末表現））
6	第2編 基礎編（第1章 内容把握問題の解法（第4節 文末表現・強調表現））
7	第3編 総合演習（第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第3章 空欄補充問題）
8	第3編 総合演習（第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第3章 空欄補充問題）
9	第3編 総合演習（第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第4章 空欄補充問題）
10	第3編 総合演習（第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第4章 空欄補充問題）
11	第3編 総合演習（第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第5章 空欄補充問題）
12	第3編 総合演習（第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第5章 空欄補充問題）
13	演習問題
14	演習問題
15	演習問題
16	演習問題
17	演習問題
18	演習問題
19	演習問題
20	単位認定試験
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30001

文章理解Ⅱ

Reading comprehension I

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

2

前

1

1

講義

安藤 隆

授業の概要

日本語現代文の問題演習を行います。具体的には、内容把握、要旨把握、文章整序、空欄補充の各分野を扱い、基礎的レベルの問題を確実に解けることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	第3編 総合演習（第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第3章 空欄補充問題）
2	第3編 総合演習（第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第3章 空欄補充問題）
3	第3編 総合演習（第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第4章 空欄補充問題）
4	第3編 総合演習（第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第4章 空欄補充問題）
5	第3編 総合演習（第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第5章 空欄補充問題）
6	第3編 総合演習（第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第5章 空欄補充問題）
7	演習問題
8	演習問題
9	演習問題
10	単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30031

数的推理

Mathematical reasoning

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

1

前

3

4

講義

吉川 宏樹

授業の概要

数的推理の問題について初歩レベルの講義と演習を行います。具体的には、方程式・不等式（過不足算、年齢算など）、整数問題（倍数と約数、整数の性質、 n 進法など）、割合と比（売買算、濃度など）、速さ（旅人算、通過算、流水算など）、仕事算、場合の数・確率です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	序章 数と文字式の計算 第1章 方程式 第1節 方程式 第2節 不等式、第3節 過不足算、第4節 平均算
2	第1章 整数・計算パズル 第1節 約数と倍数 第2節 割り算の余り 第3節 整数の性質 第4節 カレンダー
3	第2章 整数・計算パズル 第5節 数列 第6節 魔法陣 第7節 虫食い算・覆面算 第8節 n 進法
4	第3章 第1節 割合 第2節 比 第3節 売買算 第4節 濃度
5	第4章 速さ 第1節 速さ 第2節 旅人算 第3節 通貨算 第4節 流水算
6	第5章 仕事算 第2節 給排水算 第3節 ニュートン算
7	第6章 場合の数 第1節 場合の数 第2節 順列 第3節 組合せ 第4節 道順
8	第7章 確率 第2節 赤玉・白玉・くじ引き、第3節 サイコロ・コイン
9	単位認定試験 総まとめ
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30032

判断推理

Mathematical judgment reasoning

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科II部

なし

1

前

2

4

講義

原島 恒雄

授業の概要

判断推理の分野について、講義と演習を行います。具体的には、論理、集合の要素の個数、順序、対応関係、位置と方位、勝ち負け、うそつき問題、推理・手順、暗号などの分野を扱い、導入・基礎レベルから標準レベルの問題が解けるようにすることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	第1章～第2章 論理、集合の要素と個数
2	第3章～第4章 順序の決定、対応について
3	第5章～第6章 位置と方位、勝ち負け
4	第7章～第8章 カードゲーム、うその発言 第9章～第10章 推理、手順、暗号
5	単位認定試験、単位認定試験フィードバック、弱点補強
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30002

社会科学Ⅰ

Reading comprehension II

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

1

前

2

2

講義

安藤 隆

授業の概要

政治は憲法、人権、国会・内閣・裁判所、地方自治などを中心に、経済は市場メカニズム、景気循環、日銀・金融政策、財政制度、外国為替などを中心に、社会は現代社会の特質や労働問題、社会保障制度、地球環境問題、国際関係などを中心に講義と問題演習を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	政治：近代国家、社会契約論、議院内閣制と大統領制、日本国憲法、基本的人権
2	政治：自由権、社会権、受益権、国会の権能、議院の権能
3	政治：内閣と内閣総理大臣の権能、裁判所の権能と違憲立法審査権、地方自治、政党と圧力団体、日本の選挙制度
4	経済：現代の企業と現代の市場
5	経済：国民所得と国民経済計算、経済成長と景気循環
6	経済：通貨制度と金融政策、財政制度と財政政策、日本経済の動向
7	経済：貿易と外国為替、国際経済の動向
8	社会：社会集団と現代社会、青年期の課題、労働問題、労働組合と労働争議、現代日本の労働状況
9	社会：社会保障制度と課題、日本の社会保障制度、環境問題と国際関係
10	単位認定試験、総まとめ
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	基礎編テキスト&ドリル『政治』『経済』『社会』（大原オリジナルテキスト）
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○				○					
3	ミニテストの得点	20		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況								○	○					○
5	課題の達成状況								○						
6	課題の提出状況								○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	5										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30003

社会科学Ⅱ

Social science I

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

2

後

2

2

講義

安藤 隆

授業の概要

これまでに学んだ政治・経済・社会の分野について復習するとともに、過去問等の問題演習を通じて、応用力を養成します。これまでに学んだ各分野の重要事項について再確認し、頻出問題については確実に正解できるようにすることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	政治1 政治の基本概念：近代国家、国家論 政治制度論：権力分立制、議院内閣制、大統領制
2	政治2 日本国憲法の特徴：明治憲法と現憲法の比較、憲法の三大原則 基本的人権総論
3	政治3 精神的自由権、経済的自由権、人身の自由 社会権：生存権、教育を受ける権利、勤労の権利、労働基本権
4	政治4 国会の機構と運営：国会の地位、衆議院の優越、議員特権、国会の種類と評決
5	政治5 内閣の機構と運営：議院内閣制と内閣の構成、内閣総理大臣と内閣の権限
6	政治6 裁判所の機構と運営：司法権の帰属と独立、裁判所の機構、違憲立法審査権、地方自治、政治過程論
7	経済1 経済社会：経済体制、経済理論、現代の企業、市場メカニズム、寡占市場、国民所得と国富、経済成長と景気循環
8	経済2 通貨制度と金融政策：通貨制度、金融制度、信用創造、日本銀行の役割、財政制度の財政政策
9	経済3 日本経済の動向：戦後復興、高度経済成長、石油危機後の日本経済、貿易と外国為替：国際分業と貿易、国際収支
10	単位認定試験、総まとめ
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト「スタンダード社会科学」
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○				○					
3	ミニテストの得点	20		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況								○	○					○
5	課題の達成状況								○						
6	課題の提出状況								○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	5										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30081

人文科学Ⅰ

Humanities I

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

1

後

2

2

講義

安藤 隆

授業の概要

地理・日本史・世界史について講義と問題演習を行います。地理は世界の気候、農牧業、日本地理、世界地誌について、日本史は出題の多い近世、近代を中心に、世界史では、中国史、ルネサンス、宗教改革、絶対主義、市民革命、アジアの民族運動に重点を置き学習します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	地理：世界の大地形、山地地形、平野地形、気候要素と気候因子、世界の風系、ケッペンの気候区分
2	地理：世界の土壌と植生、世界の農牧業、世界の主要漁場、世界のエネルギー資源と鉱産資源、電力資源
3	地理：世界の主要工業地域、都市の発達と人口、日本の自然環境と産業
4	日本史：原始と古代、聖徳太子の政治と飛鳥文化、大化の改新と白鳳文化、律令体制の完成と天平文化、平安時代と国風
5	日本史：鎌倉時代の政治と文化、室町時代の政治と文化、戦国時代と織豊政権
6	日本史：江戸幕府の成立と幕藩体制、江戸の三大改革比較（享保・寛政・天保改革）
7	日本史：元禄文化と享保文化の比較、江戸の文化全般、開国後の幕末の状況、明治維新と文明開化
8	日本史：立憲体制の成立と日清・日露戦争、大正時代の状況、第一次世界大戦と戦後の外交
9	日本史：第二次世界大戦と戦後の外交、GHQ統治時代、現代の状況
10	単位認定試験、総まとめ
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	基礎編テキスト&ドリル『地理』『日本史』（大原オリジナルテキスト）
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○				○					
3	ミニテストの得点	20		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	5							○	○					○
5	課題の達成状況								○						
6	課題の提出状況								○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5											○		
8	理解度の低い学生への学習支援											○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30082

人文科学Ⅱ

Humanities II

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

2

後

2

1

講義

安藤 隆

授業の概要

これまでに学んだ地理・日本史・世界史の分野について、復習をするとともに、過去問等の問題演習を通じて、応用力を養成します。これまでに学んだ各分野の重要事項について再確認し、頻出問題については確実に正解できるようにすることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	日本史1 古代：聖徳太子の政治と飛鳥文化、大化の改新と白鳳文化、
2	日本史2 古代：奈良時代、律令体制の完成と天平文化
3	日本史3 古代：平安時代 摂関政治と国風文化
4	日本史4 中世：鎌倉時代の政治制度・対外関係、
5	日本史5 中世：室町時代の政治制度・対外関係、
6	日本史6 中世：鎌倉と室町時代の社会と産業、文化の比較
7	日本史7 安土桃山時代と江戸幕府の成立、
8	日本史8 江戸の三大改革、元禄文化と化政文化
9	日本史9 幕藩体制の動揺と開国後の状況、明治維新と文明開化、立憲体制の成立
10	日本史10 明治維新と文明開化、立憲体制の成立
11	日本史11 日清戦争と日露戦争、第一次世界大戦と第二次世界大戦
12	地理1 世界の地形：世界の大地形、山地と平野の地形、その他の地形、
13	地理2 世界の地形：世界の気候分布、土壌と植生の分布
14	地理3 世界の農牧業地域、主要作物の生産と貿易、
15	地理4 工業化と工業地域：ヨーロッパ、USA、中国等、村落と都市、人口動態、交通通信、環境問題、
16	地理5 世界の地形、世界の気候分布、土壌と植生の分布、世界の農牧業地域、主要作物の生産と貿易
17	地理6 日本地理：国土、自然環境、人口、産業、世界の国々
18	地理7 世界の国々
19	単位認定試験 総まとめ
20	単位認定試験のフィードバック 弱点補強
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト「スタンダード人文科学」
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	20				○				○					
3	ミニテストの得点	10		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況								○	○					○
5	課題の達成状況								○						
6	課題の提出状況								○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	5										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30036

図形・資料解釈

Consideration from figures and materials

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科II部

なし

1

通

3

3

講義

吉川 宏樹

授業の概要

公務員試験の図形・資料解釈の分野について、講義と問題演習を行います。具体的には折り紙、回転の軌跡、正多面体・展開図、平面図形の構成、サイコロ、見取図と投影図、立体の切断・回転体、一筆書き、平面図形の計量、立体図形の計量を扱います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	図形 第1章 折り紙 第2章 回転の軌跡 第3章 正多面体・展開図
2	図形 第3章 正多面体・展開図
3	図形 第4章 平面図形の構成
4	図形 第5章 サイコロ
5	図形 第6章 見取図と投影法・積木
6	図形 第7章 立体の切断・回転体
7	図形 第8章 一筆書き 第9章 平面図形の計量
8	図形 第9章 平面図形の計量
9	図形 第9章 平面図形の計量 相似比の基礎、中点連結定理、平行線と相似
10	単位認定試験 総まとめ
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考	
----	--

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30091

自然科学Ⅰ

natural ScienceⅠ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

1

後

1

2

講義

原島 恒雄

授業の概要

生物・地学の講義と問題演習を行います。生物は生体の構造、代謝、遺伝、刺激の受容と反応、内部環境の恒常性と調節、生物の集団・進化と系統などについて、地学は地球の内部構造と地震、岩石、大気と海洋、太陽系と宇宙の構造、地層と地質年代などについて扱います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	生物 第1章 生体の構造 ～ 第2章 生体内の代謝
2	第3章 生殖と発生 ～ 第4章 遺伝と変異
3	生物 第5章 刺激の受容と反応 第1節 興奮の伝わり方 ～ 第4節 動物の行動
4	生物 第6章 内部環境の恒常性、第7章、第8章
5	単位認定試験 総まとめ
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	5						○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援									○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30092

自然科学Ⅱ

natural Science II

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

2

後

1

1

講義

原島 恒雄

授業の概要

これまでに学んだ生物・地学の分野について復習するとともに、過去問等の問題演習を通じて、応用力を養成します。これまでに学んだ各分野の重要事項について再確認し、頻出問題については確実に正解できるようにすることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	地学 第1章 第1節 地球の形と内部構造 第2節 動く大地
2	地学 第1章 第3節 地震 第4節 プレートと日本列島
3	地学 第2章 第1節 火成岩とマグマ
4	地学 第2章 第2節 堆積岩と風化作用 第3節 変成岩と造山運動
5	地学 第3章 第1節 大気の大気構造と地球の熱収支 第2節 雲と降雨 第3節 地球をめぐる大気
6	地学 第3章 第4節 気象現象と日本の四季
7	地学 第3章 第4節 気象現象と日本の四季 第5節 海洋と海水
8	地学 第4章 第1節 地球の運動 第2節 恒星の運動
9	地学 第4章 第3節 恒星の世界 第4節 銀河と宇宙 第5章 第1節～第5節
10	単位認定試験 総まとめ
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	5						○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援									○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30093

自然科学Ⅲ

natural ScienceⅢ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

2

前

1

1

講義

原島 恒雄

授業の概要

これまでに学んだ生物・地学の分野について復習するとともに、過去問等の問題演習を通じて、応用力を養成します。これまでに学んだ各分野の重要事項について再確認し、頻出問題については確実に正解できるようにすることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	地学 第1章 地球の姿と動く大地 第2章：岩石 第3章：大気と海洋
2	地学 第4章 太陽系と宇宙の構造 第5章 地球と人類
3	生物 第1章 生体の構造 第2章 生体内の代謝
4	生物 第2章 生体内の代謝、第3章 生殖と発生 第4章 遺伝と変異
5	生物 第5章 刺激の受容と反応
6	生物 第6章 内部環境の恒常性と調整
7	生物 第7章 生物の集団 第8章 生物の進化と系統
8	総復習1
9	総復習2
10	単位認定試験 総まとめ
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	20				○			○			
3	ミニテストの得点	10		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30033

数的処理Ⅰ

Calculation exercisesⅠ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

1

後

2

2

講義

吉川 宏樹

授業の概要

これまでに学んだ数的推理・判断推理・図形の各分野について復習をするとともに、過去問等の問題演習を通じて、応用力を養成します。これまで習った解法のポイントを再確認し、実際に問題を解くときに適切に使えるようにすることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	序章 数と文字式の計算、方程式、鶴亀算
2	平均、年齢算、年齢算、最大公約数、最小公倍数
3	整数・計算パズル、n進法、
4	割合と比、比例式、連比、比例配分、比の条件、比・売買算
5	濃度、速さ・時間・距離、出会い算と追いつき算
6	時計算、仕事算、水槽算
7	場合の数、順列・円順列
8	場合の数、数珠順列
9	単位認定試験のフィードバック 弱点補強
10	単位認定試験 総まとめ
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30034

数的処理Ⅱ

Calculation exercises II

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

2

前

2

4

講義

吉川 宏樹

授業の概要

問題演習と解説の反復により本試験に対応できる実戦力を養成することを目標とします。頻出問題について解法を改めて確認し、未見の問題についても、どの解法を用いればよいかの判断を的確にできるようにして、問題を解く際のスピードと精度を上げていきます。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	折り紙、軌跡、正多面体・展開図、平面図形の構成、サイコロ、見取り図と投影図・積木
2	立体の切断、一筆書き、平面図形の計量、三平方の定理、相似比、中点連結定理、平行線と相似、面積比
3	平面図形の計量、三角形の外角、正多角形の内角と外角、円周角の定理、接弦定理、
4	円の接線の長さ、円と三平方の定理、内接円、扇形の面積、移動図形が作る図形の面積、立体図形の計量
5	単位認定試験 総まとめ
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30035

数的処理Ⅲ

Calculation exercisesⅢ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

2

前

2

3

講義

吉川 宏樹

授業の概要

判断推理の分野について問題演習と解説を行い、本試験に対応できる実戦力を養成することを目標とします。学んだ解法のポイントを再確認し、どのタイプの問題にどの解法を適用すべきかの判断を的確にできるようにして、未見の問題にも対応できるようにします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				<input type="radio"/>		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	論理（命題）、三段論法、ベン図、順序、確定条件、順序の決定、折り返しの順序
2	順序の決定、時計のずれ、方程式、
3	位置と対応、男女の区別、議長席他
4	対戦、対応
5	問題演習、手順
6	問題演習、暗号
7	単位認定試験 総まとめ
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○				○					
3	ミニテストの得点	20		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況								○	○					○
5	課題の達成状況								○						
6	課題の提出状況								○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	5										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30042

行政職対策

Measures for civil service examination

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科II部

なし

2

通

3

2

演習

安藤 隆

授業の概要

公務員試験の1次試験の模擬試験を行います。問題の難易度をさらに上げて、事務系の適性検査まで含めたより実戦的な訓練を積み、合格点に達することを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	答案練習会（模擬試験）、解答解説
2	答案練習会（模擬試験）、解答解説
3	答案練習会（模擬試験）、解答解説
4	答案練習会（模擬試験）、解答解説
5	答案練習会（模擬試験）、解答解説
6	答案練習会（模擬試験）、解答解説
7	答案練習会（模擬試験）、解答解説
8	答案練習会（模擬試験）、解答解説
9	答案練習会（模擬試験）、解答解説
10	答案練習会（模擬試験）、解答解説
11	答案練習会（模擬試験）、解答解説
12	答案練習会（模擬試験）、解答解説
13	答案練習会（模擬試験）、解答解説
14	答案練習会（模擬試験）、解答解説
15	単位認定試験
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	前回の問題と解答・解説をよく読み、同じ間違いをしないように学習する。
充当時間	約30分間程度
事後学習	行政職対策答練で間違えた問題の確認・復習
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト「模擬試験問題&解答解説」
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30041

警察官消防官対策

Measures to recruit police officers and firefighters

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科II部

なし

2

通

2

2

演習

安藤 隆

授業の概要

公務員試験の1次試験の模擬試験を繰り返し行います。合格ラインである6割以上の正解を目指して目標点を設定し、本番の形式に慣れることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	答案練習会（模擬試験）、解答解説
2	答案練習会（模擬試験）、解答解説
3	答案練習会（模擬試験）、解答解説
4	答案練習会（模擬試験）、解答解説
5	答案練習会（模擬試験）、解答解説
6	答案練習会（模擬試験）、解答解説
7	答案練習会（模擬試験）、解答解説
8	答案練習会（模擬試験）、解答解説
9	答案練習会（模擬試験）、解答解説
10	単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	前回の問題と解答・解説をよく読み、同じ間違いをしないように学習する。
充当時間	約30分間程度
事後学習	警察官・消防官対策答練で間違えた問題の確認・復習
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト「模擬試験問題&解答解説」
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220PCN30043

作文面接対策

Interview and essay exam preparation

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科Ⅱ部

なし

2

通

1

1

演習

安藤 隆

授業の概要

公務員試験の作文試験の対策を中心に実施します。頻出項目から作文を作成し、添削後のアドバイスから作文能力の向上を図ります。また、面接対策では、入退室の仕方などの面接時の所作の確認、志望動機、自己PRの練習を行い、実際の面接試験に備えます。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、活躍できる能力を身に付けている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
目標7	公務員試験・各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				<input type="radio"/>		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	作文「将来の夢」または「私の好きなもの」
2	作文「社会とは何か」
3	作文「少子化・人口減少」または「超高齢社会」
4	作文「地震対策」または「防災対策」
5	作文「地方の活性化・地方創生」
6	作文「失敗から学んだこと」
7	公務員試験二次試験対策
8	公務員試験二次試験対策
9	公務員試験二次試験対策
10	単位認定試験、総まとめ
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

事前学習	試験の傾向から、出題されそうな分野の資料（新聞記事、書評、ニュースなど）を集めて、分野ごとに分類しながら知識を身に付け、試験の対策を行う。
充当時間	約1時間程度
事後学習	作文課題の構成・添削箇所の確認
充当時間	約30分程度
使用テキスト	なし
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN30071

プレゼンテーション演習

Group work I

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ
部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ
部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ

なし

2

後

1

1

演習

山崎 好乃

授業 の 概 要	マイクロソフト社のプレゼンテーションソフトであるPowerPoint2019を使用して、「卒業論文」を作成・発表するためのスキルを習得します。
-------------------	---

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標 3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
目標 6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
目標 1 0	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	PowerPointの使い方、資料作成の方法と計画、作成上の注意点、発表会について
2	プレゼンテーション資料作成指導1
3	プレゼンテーション資料作成指導2
4	プレゼンテーション資料作成指導3
5	プレゼンテーション資料作成指導4
6	プレゼンテーション資料作成指導5
7	プレゼンテーション資料作成指導6
8	プレゼンテーション資料作成指導7
9	プレゼンテーション資料作成指導8
10	プレゼンテーション発表会（兼 単位認定試験）
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分程度
事後学習	学習した内容について、指示された課題があれば行う（宿題）。
充当時間	約30分～1時間程度
使用テキスト	特になし
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	0	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○			○			
3	ミニテストの得点	0		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	20						○				
6	課題の提出状況	10						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9	課題発表会の発表内容	60	○	○	○	○	○					○
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	(有)・無	
再試験	(有)・無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN30051

卒業研究

Graduation production

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ
部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ
部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ

なし

2

後

2

2

演習

東郷 睦

授 業 の 概 要	各自が設定したテーマに従って研究し、論文を完成させます。テーマの設定にあたっては、卒業後の進路に関する研究を基本とします。それ以外では、学科の特性に即したものと現在働いている業界・企業に関するものとします。テーマに基づいた章立てと項目立て、データの収集とまとめ、MOS-Wordでの入力作業、校正を進めます。発表はPowerPoint資料を作成して実施します。
-----------------------	--

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎概念を区分できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 2	科目毎に設定された基本事項を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 3	各章毎に設定された基本事項を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 4	単元毎に設定された基本事項を理解できる。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 6	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
目標 7	検定試験に向けた学習対策が身についている。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 8	理解度の低い学生への学習支援ができる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				<input type="radio"/>		
目標 1 0	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	卒業研究についてガイダンス・論文の書式、構成方法等説明。各種提出期限の案内
2	研究テーマについて「卒業論文概要書」の作成
3	「卒業研究論文概要書」提出期限。未提出者へのフォロー
4	個々への助言・指導。「概要書」未提出者へのフォロー
5	個々への助言・指導
6	各自による 第1回中間発表、個別作業
7	個々への助言・指導
8	個々への助言・指導
9	個々への助言・指導
10	各自による 第2回中間発表（単位認定試験）
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	文献、資料等の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約1時間
事後学習	各授業毎に訂正事項、参考資料の読み返し、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	なし
参考資料	各種データベース、論文集、図書館等
参照データ	CiNii Articles、CiNii Books、J-STAGE、JAIRO、Google Scholar、PLOS、PubMed、IEEE Xplore®Digital Library、国立国会図書館サーチ、カーリル、各大学・大学院機関リポジトリ、各省庁HP等

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	0	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○					○				
3	ミニテストの得点	0		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○					○
5	課題の達成状況	20							○						
6	課題の提出状況	10							○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	0										○			
9	課題の完成度、内容、形式等	60													
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN30061

スキルアップ講座Ⅰ
(B検ジョブパス2級対策)

Skill up studies I

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

後

2

1

講義

花澤 徹

授
業
の
概
要

新社会人・職業人としての心構え、基礎能力を「ビジネス能力検定2級（B検ジョブパス2級）」問題の解答解説を通じて身につけることを目的とします。カリキュラムの都合上、公務員学科Ⅱ部を除いて、「B検2級」を全員受験します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎概念を区分できる。	○	○	○			
目標2	科目毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				○
目標4	単元毎に設定された基本事項を理解できる。		○				○
目標5	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○		○		
目標7	検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。				○		○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目内容の説明、概要
2	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ キャリアと仕事へのアプローチ
3	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ 会社活動の基本
4	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ 話し方と聞き方
5	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ 接客と営業の進め方
6	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ 不満を信頼に変えるクレーム対応
7	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ 会議への出席とプレゼンテーション
8	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ チームワークと人のネットワーク
9	仕事の実践とビジネスツール・ 仕事の進め方
10	仕事の実践とビジネスツール・ ビジネス文書の基本
11	仕事の実践とビジネスツール・ 統計・データの読み方、まとめ方
12	仕事の実践とビジネスツール・ 情報収集とメディアの活用
13	仕事の実践とビジネスツール・ 会社数字の読み方
14	仕事の実践とビジネスツール・ ビジネス文書の基本と法律・税金知識
15	仕事の実践とビジネスツール・ 産業と経済の基礎知識
16	仕事の実践とビジネスツール・ 産業と経済の基礎知識2
17	社会で活躍するために必要な知識1
18	社会で活躍するために必要な知識2
19	単位認定試験
20	単位認定試験のフィードバック、総復習
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	ビジネス能力検定 ジョブパス2級 問題集及び公式テキスト（コピー）
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	30	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	30				○			○			
3	ミニテストの得点	0		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	0						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	40									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

」

備考	<p>夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。 1日のコマ数は最大2コマ。スキルアップ講座は「スキルアップ講座Ⅰ（P検3級対策）」と「スキルアップ講座Ⅱ（B検2級対策）」。</p>
----	---

シラバスNo.

授業科目名（英語）

222BDN30062

スキルアップ講座Ⅱ（P検3級対策）

Skill up studiesⅡ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部

なし

2

後

2

1

講義

岩野 桂子

授業の概要

P検（ICT プロフィシエンシーアセスメント）3級の受検を目標とした授業です。情報通信のリテラシー学習をはじめとし、倫理規定の徹底をもとに各種課題をPBL演習型で学習します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎概念を区分できる。	○	○	○			
目標2	科目毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				○
目標4	単元毎に設定された基本事項を理解できる。		○				○
目標5	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○		○		
目標7	検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。				○		○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	授業計画（授業の具体的な実施内容）説明、情報モラルと情報セキュリティ+課題
2	情報モラルと情報セキュリティ+課題
3	情報モラルと情報セキュリティ+課題
4	Lesson1<実技>ワープロ+課題
5	Lesson1<実技>ワープロ+課題
6	Lesson2<実技>表計算+課題
7	Lesson2<実技>表計算+課題
8	Lesson3<一般問題>コンピュータ知識
9	Lesson3<一般問題>コンピュータ知識
10	Lesson4<一般問題>情報通信ネットワーク+課題
11	Lesson4<一般問題>情報通信ネットワーク+課題
12	Lesson4<一般問題>情報通信ネットワーク+課題
13	Lesson6<一般問題>ICTを活用した問題解決+課題
14	Lesson6<一般問題>ICTを活用した問題解決+課題
15	各種PBL演習（課題解決型の演習）①
16	各種PBL演習（課題解決型の演習）②
17	各種PBL演習（課題解決型の演習）③
18	各種PBL演習（課題解決型の演習）④
19	単位認定試験
20	単位認定試験のフィードバック
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に30分程度
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、課題提出等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	P検公式テキスト「P検」3級テキスト ISBN978-4-9906465-3-0
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	(有)・無	
再試験	(有)・無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	<p><u>大手電機機器メーカーに長年勤務し、コンピュータの開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い知識を併せ持つ。</u></p>
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。コマ数は最大2コマ。
スキルアップ講座はビジネス実務と手話がセットで1科目。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN30063

スキルアップ講座Ⅲ
(B検ジョブパス2級対策)

Skill up studies I

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

後

1

1

講義

花澤 徹

授
業
の
概
要

新社会人・職業人としての心構え、基礎能力を「ビジネス能力検定2級（B検ジョブパス2級）」問題の解答解説を通じて身につけることを目的とします。カリキュラムの都合上、公務員学科Ⅱ部を除いて、「B検2級」を全員受験します。この授業は再履修科目です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎概念を区分できる。	○	○	○			
目標2	科目毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				○
目標4	単元毎に設定された基本事項を理解できる。		○				○
目標5	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○		○		
目標7	検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。				○		○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目内容の説明、概要
2	ビジネスとコミュニケーションの基本
3	ビジネスとコミュニケーションの基本
4	ビジネスとコミュニケーションの基本
5	仕事の実践とビジネスツール
6	仕事の実践とビジネスツール
7	仕事の実践とビジネスツール
8	社会で活躍するために必要な知識1・2
9	単位認定試験
10	単位認定試験のフィードバック、総復習
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	ビジネス能力検定 ジョブパス2級 問題集及び公式テキスト（コピー）
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	30	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	30				○			○			
3	ミニテストの得点	0		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	0						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	40									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

」

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。

1

日のコマ数は最大2コマ。スキルアップ講座は「スキルアップ講座Ⅰ（P検3級対策）」と「スキルアップ講座Ⅱ（B検2級対策）」。

シラバスNo.

授業科目名（英語）

222BDN30064	スキルアップ講座Ⅳ（P検3級対策）	Skill up studies II
-------------	-------------------	---------------------

学科名	コース名	学年	学期	単位数	週コマ	方法	科目担当教員
経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部	なし	2	後	1	1	講義	岩野 桂子

授業の概要	P検（ICT プロフィシエンシーアセスメント）3級の受検を目標とした授業です。情報通信のリテラシー学習をはじめとし、倫理規定の徹底をもとに各種課題をPBL演習型式で学習します。この授業は再履修科目です。
-------	---

具体的な到達目標とDP等への対応		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎概念を区分できる。	○	○	○			
目標2	科目毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				○
目標4	単元毎に設定された基本事項を理解できる。		○				○
目標5	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○		○		
目標7	検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。				○		○

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	授業計画（授業の具体的な実施内容）説明、情報モラルと情報セキュリティ+課題
2	情報モラルと情報セキュリティ+課題
3	Lesson 1 <実技>ワープロ+課題
4	Lesson 2 <実技>表計算+課題
5	Lesson 3 <一般問題>コンピュータ知識
6	Lesson 4 <一般問題>情報通信ネットワーク+課題
7	各種PBL演習（課題解決型の演習）③
8	各種PBL演習（課題解決型の演習）④
9	単位認定試験
10	単位認定試験のフィードバック
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に30分程度
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、課題提出等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	P検公式テキスト「P検」3級テキスト ISBN978-4-9906465-3-0
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	大手電機機器メーカーに長年勤務し、コンピュータの開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い知識を併せ持つ。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。コマ数は最大2コマ。
スキルアップ講座はビジネス実務と手話がセットで1科目。